

2020年度 第3回運営委員会議事録

- 日 時 : 2020年9月3日(木) 13:30~15:30
- 場 所 : サプリ村野 環境保全研修室
- 出席者 : 伊丹、市山、大倉(枚方市)、阪口、末岡、豊高、丸井、宮村、事務局
- 欠席者 : 阪本、
- 議 長 : 阪口 ■議事録作成 : 事務局
- 配布資料 : ・環境教育部会8月定例会議事録
・部会運営について
・プラごみダイエツト表彰式の場について
・理事会日程

1. 報告事項

①事務局報告

- ・会員動向は、下表参照
- ・インターン生3名
- ・当団体のスタッフ会員でもあるドツトジェーピースタッフから、9月13日に尼崎でドツトジェーピー主催の「議員とNPOと学生によるワークショップ」にパネラーとして参加いただきたいとの要請があり参加する。
- ・MYゴーヤの方が毎週火曜日に来られ、交流の場となり環境の話もできてよかった。
- ・夏休みは、環境講座をいくつか開講でき、参加者に喜んでいただけてよかった。
- ・会報誌10月号の原稿を10日、もしくは15日までをお願いしたい。

(質疑応答)

Q: 会費の入金状況はどうか

A: 例年並み、順当に入金いただいている。

Q: エコノートの参加者の方は

A: 会員に誘うと足が遠のいたりもするので難しい。活動への参加のお誘いは多い。

Q: 市議員でSDGsの取り組み講演をしている方がおられるが、ここには来ていないか

A: 来ていない。

②プロジェクトチーム・部会報告

◆地球温暖化防止対策推進チーム報告

- ・エコノートの取り組みを検証するため、5年以上継続者にアンケート調査を行う。
- ・市民も巻き込んで考えてもらいたい情報についての発信方法の検討をしている。

(質疑応答)

Q: カレーや油を流してはいけないというような常識のようなことを知らない人が多く驚く。

A: そういう事例はたくさんあるので、そういう情報をしっかり発信していかなければいけない。

Q: ディスポーザーを使用している人が多い。枚方市は、禁止しているのでは。

A: 今は、禁止はしていない

意見: 私たちには当たり前の事でも、若い人は全然知らない事が多い。そういった環境に対する

常識の違いを漫画にすることで、おもしろく伝えていければいい。

◆S-EMS プロジェクトチーム報告

今年は、学校訪問はできないことになったので動けない状態である。来年以降については、さまざま検討中であるが、チームとしては継続できる準備はしている。

Q：枚方市の方ではどういう動きになっているか

A：教育委員会の方で、このPFI事業のまとめの結果が3月にでてそれからとなるだろう。

Q：PFI事業とは切り離して、S-EMS単独での継続を働きかけた方がよいのではないか。

A：当法人としてはPFI事業ではなく、SEMS単独で継続の必要性を訴えている。

Q：支援事業と切り離したら入札になるのではないか。

A：現在の受託も入札で採択されたので問題ない。

Q：コストが安い方がいいのか。コストを第一義に考えているのであれば、当法人に依頼してもらえばコストが抑えられることをアピールすることも大切なのではないか。

A：コストは安い方がいいがそれだけではない。いかに重要性を感じてもらえるかである。教育委員会というよりは、環境部にこの事業の重要性・必要性を感じ、継続の方策を検討していただきたい。

◆環境教育部会

8日にミーティング、29日にくらわんか塾の最終打ち合わせをした。

環境出前授業 については7月に学校訪問をし状況をうかがった。そこで、コロナ対策をした授業の必要性を感じたため、グループワークショップから個人単位、共有教材から個人教材へなどに対応できるよう準備をすすめている。

くらわんか塾は、1日に見学会、5日に講義という計画であったが、1日の見学先が受け入れを中止されたため、中止とした。5日は外部から5名、部会から8名の参加予定である。

(主な意見)

Q：現在、出前授業の予定は何校か。

A：今は1校である。9月か10月に学校への依頼をおこなおうとしている。

学校の先生方は大変な状況なので、1校でも受け入れがあるのは素晴らしいことである。

◆公共交通部会

電車バスの写真募集を企画し、今月中に募集チラシが出来上がる。

前回報告していた、京阪枚方駅へのデジタルサイネージによる啓発は2週間行った。

(主な意見)

・写真応募は一人一点か。➡制約はない。

◆自然エネルギー部会

自然エネルギー部会は、当面、現存の部会員1名と丸井さんで運営していく。

自然エネルギー学校について、1つは、千葉大学の倉阪先生に、「再生可能エネルギー100%の自治体」についての講演を依頼し大枠承諾を得ているので、11月位に実施したいと考えている。もう一つ、ピコ水力のデモンストレーションを行いたいと思っているが、こもれば水路が現在機械

の故障で水が流せない状況なので、復旧すれば実施したいと考えている。

(主な意見)

Q：天の川では実施できないか。

A：大阪府の土木事務所の許可が必要である。交渉してみる。

Q：会員はどうするのか。

A：実際の事業を展開しながら、部会員の増強をしていく。

Q：こもれび水路プロジェクトはどうなったか。

A：ネットワーク全体で事業継続を検討していくことになる。

◆まちづくり部会

部会長が継続が厳しい状態なので、一度話をする。

2. 協議事項

◆部会運営について

どこの部会も部会運営が人員不足等により運営が難しくなっている点について意見伺いたい。

(主な意見)

Q：公共交通部会は、部会員は少ないが、企業や役所の方も一緒にミーティングを活動している。

自然エネルギー部会もソロプチミストさんとの連携をしていたように思うが、そこの関係はどうなっているか。

A：ソロプチミストさんは、9月に会長さんが交代されるので、ご挨拶に行く予定である。当団体との関係は継続いただけると聞いているが、訪問時に改めてお願いをしたいと思っている。

Q：教育部会は、活発に活動しているが、部会の後継者の育成が課題と聞いているがどうか。

A：教育部会は、10名位の部会員がいるので、皆さんに積極的に取り組んでもらえるように役割分担をするなど工夫している。当番は、他部会や事務局との交流の大切な機会ととらえている。

Q：温暖化対策推進チームを部会に格上げしてはどうか。

A：ミーティングで検討する。

Q：現在、部会の当番体制が崩れている。他部会の方との交流のいい機会であったので継続してほしい。

A：部会活動が止まっているところでは難しい。

Q：当番に来てもらっても、やることがないというような状況になることが多いが、実際どうか。

A：リユースコーナーに来られた人とコミュニケーションしてもらってはどうか。

Q：運営委員会議事次第にリユースコーナーの利用者人数をかいてはどうか。

A：次回から、記載する

Q：会員交流の場が大切。交流のためのレクリエーション、花見やボーリング大会はどうなっているか。

A：今年度から実施予定だったが、コロナの関係で見合わせをしている。

Q：MYゴーヤの参加者が毎週集まって世話をすることを楽しみに参加してくれている。このように、会員向けに毎週集まって活動するような会員活動を考えてはどうか。

A：それはいい考えなので、生きもの係、リユースコーナーボランティアなど、検討していきたい。

◆プラごみダイエットの結果発表式について

ゴミ減量フェアがなくなり、プラごみダイエットの結果発表の場をエコフォーラムに移行しようと思うが、エコフォーラムが開催できなかった場合、どうするか意見をうかがいたい。

(主な意見)

- ・開催する予定で動くしかない。
- ・単体での表彰式をするか、しないかという問題。ボランティア表彰などは、単体でやっている。
- ・エコフォーラムができなくても、表彰式はメセナで開催すればよいのではないか。

結論)

メセナの使用禁止がでない限り、エコフォーラムの開催有無にかかわらず、表彰式等はエコフォーラムの予定日にメセナで行う。

◆理事会日程

理事会 11月6日(金) 10:30~11:30 環境保全研修室

****次回運営委員会** 10月23日(金) 13:30~15:30 サプリ村野 環境保全研修室**